

科目名称	生活（小）
授業コード	BN274B
英語名称	Living Environment Studies (Elementary Education)
学期	2024年度後期
単位	2.0
担当教員	富永 弥生
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	小学校における「生活」の授業実践に必要な実践的な知識・技能と、生活科に関連する背景的な知識を身に付ける。
科目に関連する実務経験と授業への活用	この授業では、小学校教諭として児童と深くかかわってきた現場での実務経験を活かし、「生活」を指導していく上での知識、技能等を解説するとともに、学習指導要領を踏まえ、教育現場に生かすことができるよう、アクティブラーニングを導入しながら実践的な教育を展開していく。
到達目標	小学校における「生活」の授業を担当するために必要な実践的な知識・技能を、授業場面を意識しながら身に付ける。特に、小学校学習指導要領解説家庭編に示されている内容の取扱いと指導上の配慮事項および実習の指導について具体例から学び、子どもたちが自立し生活を豊かにしていくための資質・能力をどのように育成するか理解する。
計画・内容	<p>第1回 オリエンテーション、生活科の教育課程上の位置づけ</p> <p>第2回 生活科の目標と内容構成</p> <p>第3回 内容（１）学校と生活</p> <p>第4回 内容（２）家庭と生活</p> <p>第5回 内容（３）地域と生活</p> <p>第6回 内容（４）公共物や公共施設の利用</p> <p>第7回 内容（５）季節の変化と生活</p> <p>第8回 内容（６）自然やものを使った遊び</p> <p>第9回 内容（７）動植物の飼育・栽培</p> <p>第10回 内容（８）生活や出来事の伝え合い</p> <p>第11回 内容（９）自分の成長</p> <p>第12回 内容の取扱い - 継続的な飼育・栽培 -</p> <p>第13回 内容の取扱い - 中学年以降の教育への接続 -</p> <p>第14回 内容の取扱い - 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿との関連 -</p> <p>第15回 内容の取扱い - スタートカリキュラムの編成 -</p>

授業の進め方	講義、演習、実習を行う。
能動的な学びの実施	アクティブラーニングを取り入れ、演習や実習を適宜行う。
授業時間外の学修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業前に予め教科書の該当部分や参考資料を読み、不明な点をまとめておくこと。(各回1～2時間)</li> <li>・授業後に教科書や授業資料等をもとに自身の理解を確認し、習熟が必要な点をまとめたり、教材の体験をしたりすること。(各回2～3時間)</li> </ul>
教科書・参考書	<p>教科書 小学校学習指導要領解説家庭編，文部科学省，東洋館出版社，2018</p> <p>参考書 新編 新しい生活上・下，東京書籍，2024</p>
成績評価方法と基準	積極的な授業参加 30%、課題論述レポート 70%
課題等に対するフィードバック	課題のフィードバックは、次回以降の授業でコメント・返却する。
オフィスアワー	Campus Squareを参照。
留意事項	体験活動時の服装や持ち物は各自用意すること。 (詳細は、授業内で事前に連絡する。)
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	Zoomによるオンライン授業と課題学修を組み合わせる。 体験活動については、家庭や地域等で行って成果の画像等をレポートで報告することとし、積極的な授業参加(30%)と課題論述レポート(70%)の評価の一部に充てる。